

## はじめに



豊橋市では、国の「健やか親子21」の趣旨を踏まえ、平成14年3月に「すこやか親子とよはしプラン—豊橋市母子保健推進計画—」を策定し、親子が健やかに暮らせるまちの実現を目指して母子保健の推進に取り組んでまいりました。

平成25年3月には、新たに「健やかで心豊かな次世代を育むまちとよはし」を基本理念とした「豊橋市母子保健推進計画(第2次)2013-2022」を策定し、従来からの取組みに低出生体重児対策、子どもの虐待防止対策の強化等に加え、関係機関の協力を得て総合的に母子保健施策の推進を図ってまいりました。

この5年間では、特に妊娠期から出産、子育て期に至るまでの切れ目ない支援を推進するため「妊娠・出産・子育て総合相談窓口」を保健所・保健センターとこども未来館ここにこで開設したほか、子ども医療費の自己負担分の助成拡大に取り組むなど、一人ひとりに寄り添う支援に努めてきました。

しかしながら、晩婚化や未婚率の上昇も相まって少子化には歯止めがかからず、地域でのつながりの希薄化も依然指摘されるなど、母子保健を取り巻く環境は、なお一層の計画的な施策の充実が求められている状況にあると考えています。

今回の計画の改訂にあたっては、この5年間の取組みを総括するとともに、出産後早期から支援策として、産婦健康診査や産後ケア事業を実施し、家庭・地域・行政が一体となって本市の母子保健の水準を高め、「こどもを産み育てるなら豊橋市」といわれるまちにしていきたいと考えています。

最後になりますが、本計画の改訂にあたり、貴重なご意見をいただきました豊橋市地域保健推進協議会委員の皆様をはじめ、アンケートやパブリックコメントでご意見をいただきました市民の皆様に心よりお礼申し上げます。

平成30年3月

豊橋市長 佐原 光一